赤い靴のタンゴ

古西 賀條 政 男十 O/3

作作 曲詞

誰 涙 は 61 知 が らない は た夜から か せ た 乙女 切なく 赤 なの 61 靴 、芽生えた によ

恋 窓の月さえ 0 こころ 嘆きを誘う

君を想 なぜに燃え立つ う ラ 踊るタ 赤 シ 61 靴 \Box

2

踊 旅 る肩に は果 てなく 山越え野越えて

春はミモザの 花もにおう

道は一个 (さだ 筋 君は . め 悲 61 赤い靴よ

3

さらば おらば

飾

り紐さえ

涙でちぎれて

遠い汽笛に 散りゆく花よ

赤い靴のタンゴ

作曲 古賀政男 3

誰がは 恋 涙 知らな なく芽生えた いた夜から のこころ か せた 乙女なのに

嘆きを誘う

赤 靴のタンゴ

古賀 賀 政 男 十

作作曲詞

なぜに燃え立つ

君を想う

踊るタンゴ

は果てなく

越え野越えて

踊 る肩

花もにおう はミモザ

2/3

亦い靴のタンゴ

作曲 古賀政男作詞 西條八十

3/3

運命 (さだめ) 悲し

道 飾 り紐さえ 筋 君 は

涙でちぎれて

遠い汽笛には

彫りゆく花よ